

県会議員 奥村のり子の
読者ニュース

2016年10月16日 第237号
——奥村のり子生活相談所——
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11
☎ & FAX 073-427-7121
Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp



自民党幹事長と懇談

現在、私は人権・少子高齢化問題等特別委員会の副委員長をしています。毎年県内外調査に参加していますが、今回は議会最終日に出発という異例の日程でした。今国会に上程されている「部落差別を解消するための推進法」の調査ということで、自民党の小委員会の議員や、提案者の二階幹事長に法案審議の状況や成立に向けての進捗状況を聞くというものでした。この法案は民進党や公明党も提案に名を連ね、共産党は差別を固定

衆議院会館で小委員会のメンバー4人の方と懇談しその後自民党本部へ行き幹事長室において二階議員と懇談しました。代表質問で触れた原稿をプリントにして紹介し、今国会で成立をさせたいというふうに考えていることを委員のみなさんにされてきました。私は「少数意見も大切にしたい」と伝えました。あらためて県民のみなさんについて報告し一緒に考えていきたいと思います。

(奥村のり子)

自民議員の白紙領収書にびびり
共産党の指摘に首相「これもこれも」

10月6日、共産党の小池晃書記局長が参院予算委員会で追及した、「白紙領収書」問題は大きな反響。同日夜のテレビで詳しく報道、大手紙すべてが翌日の朝刊で、スポーツ紙も含め報じました。「朝日」は社説で「これが大臣の『常識』か」と、「毎日」も社説で「政治家の非常識に驚く」と指摘。菅官房長官とアベ首相の肝いり大臣稲田防衛相は事実を認め、所管の高市総務相も疑惑を指摘されたが「なんら問題なし」と。自民党では常態化しているごとく開き直る始末に国民の怒りが沸騰しています。

テレビはその後も報道、二階自民党幹事長が「細かいことばかり追及。政治の責任はもっと大きい問題でやらないとダメ」と語る画像が流れ、解説者は「これが永田町の常識」「細かいことをやれない者は大きなこともできない」と激怒。メディアと国民の批判で、11日の参院予算委での大門みきし議員の追及に、アベ首相は「ご指摘もつとも」と「白紙領収書禁止」を二階幹事長名で所属議員に到達したと発言。でもテレビは「実行は不透明」だといふ。

富山市で県議・市議が領収書を偽造し多額の政務活動費を不正取得し、共産党の活躍で議員辞職が相次ぎました。稲田防衛相の白紙領収書は赤旗日曜版8月14日号でスクープしました。

読者の皆さん、しんぶん「赤旗」はこのように腐敗政治を打ち破る大きな力を持っています。末永くご愛読頂くとともに読者の輪を広げて下さい。(編集室)

部落差別固定化法案の反対で



危険な大はしゃぎ

9月26日から臨時国会が始まりました。安倍首相のふるまいは以前にも増して異様です。所信表明演説では国民を逆なでするようなことばかり言うので野党席からヤジがとぶ。「この道を力強く前へ」（これ以上の暴走はやめろ！）。「みんな限界にチャレンジしている」（限界に追いこんだのは誰だ！）。「夢は叶えられない」（あなたにだけは言われたくない！）。

最も異常だったのは、衆議院の演説で安倍首相が「わが国の領土は断固として守り抜く」「現場で任務に当たっている諸君（自衛隊員ら）に、いまこの場所から心からの敬意を表そうではありませんか」と呼びかけ拍手を始めると、自民党議員が一斉に起立し大きな拍手で応えたことです。自衛隊員への敬意というより、自民党議員たちが「領土を守り抜く」という言葉に触発され、みずからの「愛

党参議院議員
大門みきし



一刻も早く内閣打倒しないと日本が危ない

翌日からの代表質問で安倍首相は、民進党議員の質問にたいしては「民主党政権のときよりりました」とケチな反論ばかり繰り返し、わが党の志位さんや市田さんの質問にはまともに答えず逃げの答弁に終始する。もともと器の小さい人間が、祖父（岸信介）の背後霊のおかげでタカ派のプリンスにまつりあげられ、わがままをリーダーシップと勘違いして大はしゃぎしている姿を見て、この内閣は一刻も早く倒さなければ日本が危ないとあらためて思いました。



9月25日京都西地区で1日3カ所たっぷり大門節を語りました。



ブログに写真を載せました。8月27日ちょっと前になりますが初めて生協病院平和夏祭りに和歌山市女性後援会で出店し、紀ノ川農協から仕入れたジュースなど販売しました。

- のり子の週刊日誌—主なもの—
- 10月14日 市駅吉宗像前宣伝、ネンリンピック壮行式 演鑑
 - 15日 河西後援会バスツアー
 - 16日 住民要求研究会、つごい
 - 17日 河西無料生活相談、障害者対策部会
 - 18日 国会議、調査
 - 19日 視力障害者県交渉
 - 20日 市駅無料生活相談、懇談会

